

## ～ 活 動 紹 介 ～

### 🐾 災害救助犬

災害救助犬は、そのほとんどが囑託制となっています。石川県では、倒壊家屋の下敷きになった被災者の捜索、救助活動を行う災害救助犬の出動体制を整備するため、能力があると認められた犬を県の囑託犬として認定し、審査会の開催を通じて県民の防災に対する関心を理解を深めています。囑託犬に認定されると、認定から1年間、石川県内市町の実施する防災訓練への参加と、災害時の救助活動に出動する役割が与えられます。



### 🐾 災害救助犬の育成と J K C 災害救助犬認定試験

災害救助犬の訓練は、犬たちの性質を活かした「かくれんぼ」方式で行われています。隠れている行方不明者役の人を見つけると褒めて遊んでやるというゲーム感覚の訓練を重ね、ある程度犬の適性を見極めた後、さらに実際の被災現場に近い状況設定の中で高度な訓練を行っています。石川県救助犬協会連合会では、さらに救助犬のレベルアップを図るため、地震や台風、土砂崩れなどによる倒壊家屋現場での被災者捜索能力を試し、J K C の認定試験に毎年チャレンジしています。

\* J K C (ジャパンケネルクラブ)

### 🐾 雪中捜索訓練

雪国である石川県では、雪崩による救助活動が想定されます。毎年、雪崩事故救助・救出訓練は、指導のもと匡王山スポーツセンターや匡王山スキー場など積雪のある現場で行われます。かんじきを履いての救助訓練は危険な雪山の知識を学ぶ貴重な機会でもあります。このように石川県救助犬協会連合会では、救助活動のプロと連携した訓練を積極的に行っています。



### 🐾 セラピードッグ

動物たちの力を借りて、介護を要する方々の心を癒し、健康改善に役立てる医療・更正行為を動物介在療法といい、その現場で活躍する犬をセラピードッグと呼んでいます。石川県救助犬協会連合会では、毎月1回石川県内各地の老人福祉施設を訪問する動物介在活動を行っています。また、毎年、辰口丘陵公園を会場に開催される「動物ふれあいフェア」は、動物と人間のよい関係を学ぶ場として定評を得ています。

### 🐾 救急講習会

被災現場での救助活動は、救助犬と飼い主の連携が欠かせません。毎年、石川県救助犬協会連合会と金沢市消防本部が合同で、「救急講習会」を行っています。救助にあたる会員が、レスキュー隊から救助資機材取扱説明や心肺蘇生法、ロープで命綱を作るといった必須項目を学びます。

